

第4章 小金井ボランティアセンターの活動の概要

小金井ボランティアセンター活動総括

小金井ボランティアセンター長 彌富 仁

小金井ボランティアセンターは、法政大学学生の精神的向上とピアサポートを基本にし、小金井キャンパス周辺の地域との連携も考えたボランティア活動を目的にしている。

活動目標としては、①ボランティア活動を行う学生スタッフの継続的募集、②当面行える社会的なボランティア活動の実施、③地域を中心とした（根ざした）具体的活動を検討することである。在学生に小金井ボランティアセンターの存在を知ってもらい、今後の活動に参加してもらうこと、そしてスタッフとなって経験を積んでもらうことにある。また、昨年からの学生スタッフに加え、新規に加入した人により活動の質を高めていくことにある。

小金井キャンパスでは、2011年の東日本大震災に伴うボランティア活動が落ち着いた後、しばらく活動が限られたものになっていた。そこで2015年度、小金井キャンパスの学生のスキルや特技を活かした、地域に対するボランティア活動の実施の検討に着手した。小金井キャンパスで活動している団体が、小金井祭で地元子供達を対象にした紙飛行機作り・スライム作り・電子工作教室などを実施（工学展の一部として実施）した。また地元に対する貢献として、小江戸東京野菜を育てる地元農家の支援、老人福祉施設での音楽団体によるコンサートや、同施設のデイケアの方を対象としたパソコン教室の補助などを行った。また地元小学校において11月末に理科教室を実施したことは、全国紙にも取り上げられた。今後も学内外にボランティアセンターの情報の発信を行うとともに、これらの活動を支援・発展・拡充させていきたい。

事業名：科学にふれよう！ おもしろ体験教室

プロジェクト：ボランティア支援プロジェクト

日時：2015年11月28日（土）13：00～14：30

場所：小金井キャンパス

概要：

1. 内容

小金井キャンパス近くの第三小学校1年生を対象にした「科学にふれよう！ おもしろ体験教室」を開催しました。講師は学園祭などの企画・運営を行っている学生団体「小金井企画実行委員会」のメンバー3人が務めました。子供たちは説明を聞いても作業がスムーズに進まず、材料をこぼしてしまったり、ボールが割れてしまうなどのハプニングに見舞われながらも、最後にはすべての参加者が、無事にスーパーボールを完成させました。できあがったボールを手に、子供たちは大きな声で「ありがとうございました」と講師を務めた学生に挨拶し、同席した保護者からは「また参加したい、次の開催はいつですか」という声が相次ぎました。

講座を終えた学生は「考えや準備が甘かった部分もたくさんありましたが、最後に子供たちの笑顔を見ることができ、達成感がありました。教える過程で、漢字や専門用語をどこまで使っていいかも悩みました。相手の目線で考えることの重要性を学べたと思います」とほっとした表情を見せました。

2. 参加者数

35名



期待する効果・狙い：

- ・地域の一員として自覚しながら、地域貢献を行う。
- ・体験教室を通して、地域子供達と交流し、科学に興味をもってもらう。